



西中だより

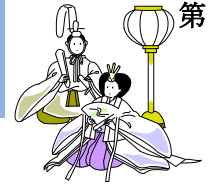
学校教育目標

志を持ち 自ら学ぶ 健康でたくましい生徒

県下に誇れる西中を



桶川市立桶川西中学校
令和5年 2月24日
第13号



西中体操

第3学年主任 片岡睦智

『西中体操』と聞くと、在校生の皆さんは、体育の授業での準備体操を思い浮かべることと思いますが、西中学校出身の保護者の方や地域の方々の中には、懐かしく思う方もいらっしゃると思います。現在行っている『西中体操』は、本来の西中体操をアレンジし、『自校体操』として行っているものです。『西中体操』の特徴的な動きを残しながら新しい体操になっています。

元々の『西中体操』については、十数年前の西中タイム（体育委員会による）で、体育委員が西中体操について説明したものを紹介します。



西中体操は、西中開校3年目を迎えた1978年に当時の音楽科の梅山先生の曲作りと体育科の黒須先生、坂井先生による動きづくりにより誕生した、世界に一つしかない西中独自の体操であり、見所は3つあります。

1つ目は、集団演技の美しさ、男子の力強さと女子のしなやかさのバランスやコントラストを表現していること。

2つ目は、リズムカルな動き、巧みな動きを引き出しながら正しく運動し、体力を向上させること。

3つ目は、西中生としての誇りを持ち、受け継がれてきた『西中体操』への熱い思いを大切にすること。

誕生以来、西中のシンボルとして体育祭のプログラムとして発表を続けてきました。

現在は全校一斉に行っていますが、過去には隊形を変えたり、演技の美しさを競ったり、いろいろな形で演技されてきました。

途中、『西中体操廃止』の声も上がったこともありました。多くの生徒や先生方の『西中の伝統として、西中の魂として残していきたい。』という意見があり、現在も受け継がれています。

今年の体育祭でも全員で心をつにし、西中の伝統と西中魂を西中体操で表現していきましょう。そして、見に来てくださった方々を感動させるような西中体操にしていきたいと思います。



3年前の体育祭では、久しぶりに3年生が『西中体操』を披露してくれました。以来、コロナ禍ということもあって体育祭のプログラムに載ることはありませんでしたが、またいつか全校生徒による『西中体操』を披露する日が来ることを楽しみにしています。桶川西中学校の良き伝統の1つとして生徒の皆さんにも大切にしたいと思っています。